

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

766

非核平和都市宣言等事業

[長期総合計画]

分野別目標	5	その他
政策	2	多様な主体による協働・連携の推進
施策	1	市民協働の推進
取組方針	1	市民協働の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		市民生活費	
	目		市民生活総務費	
	大事業		市民生活事業	
中事業		非核平和都市宣言等事業		

事業種別		継続	関連個別計画	
事業年度	H4	～	無し	担当課・担当課長・Tel
事業実施の根拠法令			関連課	市民生活課 上野山 茂 435-1045

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	和歌山市非核平和都市宣言(昭和62年12月22日議決)を基本理念とする各種の非核平和事業を行うことにより、市民が非核平和への理解を深めるとともに、核兵器廃絶に向けた市民意識の高揚を図る。		「広島平和バス」及び「原爆写真展」並びに「家族で平和を考える親子映画会」の開催により、核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さを市民に実感してもらい、市民が非核平和への理解を深めるとともに、核兵器廃絶に向けた市民意識の高揚を図るため、各種の非核平和事業を行う。 また、日本非核平和宣言自治体協議会並びに平和首長会議に加盟し、核兵器廃絶に向けた理念を同じくする自治体と協力することで、更なる非核平和事業の充実を図る。		
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
	広島平和バス(H4～) 原爆写真展(H21～) 家族で平和を考える親子映画会(H25～)	広島平和バス(H4～) 原爆写真展(H21～) 家族で平和を考える親子映画会(H25～)	広島平和バス(H4～) 原爆写真展(H21～) 家族で平和を考える親子映画会(H25～)	広島平和バス(H4～) 原爆写真展(H21～) 家族で平和を考える親子映画会(H25～)	広島平和バス(H4～) 原爆写真展(H21～) 家族で平和を考える親子映画会(H25～)

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,267	1,082	1,238	1,172	1,232	1,400	1,226	0	1,226	0
伸び率(%)	△2%	13.8%	△2.3%	8.3%	△0.5%	19.5%	△0.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,180	2,703	2,393	2,393	2,398	2,398	2,398	0	2,398
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,180	2,703	2,393	2,393	2,398	2,398	2,398	0	2,398
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	396	396	396	387	387	414	414	0	414	0
一般財源(税等)	871	686	842	785	845	986	812	0	812	0
所要人数(人)	正規職員	0.40	0.34	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	0.30
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	委託料1,106千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
「広島平和バス」募集用チラシの配布		枚	目標値	16000	6300	6300	6300	
			実績値	16000	6300	16000		
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%
広島平和バス参加者数		人	目標値	24	24	24	24	
			実績値	24	24	24		
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%
「家族で平和を考える親子映画会」		人	目標値	30	30	30	30	
			実績値	5	13	4		
			達成度(%)	16.7%	43.4%	13%	0%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	社会情勢に合わせた対応を行っているため。
見直し・改善内容	平成30年度に、近年増加傾向にある来訪外国人に、本市が非核平和宣言市であることを周知するため、外国語表記看板を既存標柱の横に設置し、充実を図った。今後も社会情勢に合わせた事業の充実を図る